

ホットな心で明日を創る。一人のために、未来のために！

# 渡辺あつこ通信 NO.1



発行責任者：公明党木更津市議会議員 渡辺厚子

H23年6月発行

日頃より、ご支援を頂き、本当にありがとうございます。5月1日より木更津市議会議員として、市民相談・地域巡回・議会活動等に取り組んでおります。6月15日には、定例議会において、初質問をさせて頂きましたので、その要旨を含めて、活動の一端をご報告させていただきます。

## 〈活動報告〉（5月～6月）

### ★ 5月3日街頭演説（真舟、畑沢、羽鳥野、請西の4箇所）

岡田貴志市議と共に、東日本大震災における公明党の  
震災対策・実績などを報告



### ★カーブミラーの不具合改善要望（改善済み）

桜井新町2箇所（桜井のDさん、Tさんから）  
波岡小前（大久保のSさんから）

### ★危険なY字路付近に路面標示を要望（実施済み）

畑沢南1丁目（畑沢南のHさんから）

← 「交差点注意」



### ★6月5日消防団放水訓練見学

第二分団・第五分団合同で  
（波岡公民館前にて）



★所属委員会 は 「教育民生常任委員会」・「木更津活性化特別委員会」・「議会広報委員会」

★ ホームページ開設！ブログも開始！ ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

<http://www.komei.or.jp/km/atsuko/>



## 6月定例議会一般質問から

質問・要望 要旨	答弁要旨
<p><b>★防災対策について</b></p> <p>◎災害時応援協定の現状と、今後の予定はどうなっているか          ・動物救護のために獣医師会と協定を結ぶ等、幅広い分野との締結推進をしてほしい</p> <p>◎避難ビルの指定について          ・津波時に一時的な高所避難できるように、マンションや企業ビルと応援協定を結んでおくとのよいのではないかと。また、協定を締結したビルに、「子ども110番」のようなプレートを貼って、周知できるようにしてほしい</p>	<p>◎現在、物資供給や医療支援活動など、7分野で23の協定と覚書を結んでいる。新たな企業とも締結に取り組んでいきたい</p> <p>◎近くに高台が無い・避難所から離れている地域もあるので、住民の避難困難者対策としての、この度の震災をふまえて津波避難ビルの指定に取り組んでいきたい（総務部）</p>
<p><b>★買い物弱者対策について</b></p> <p>◎近隣に商店が無く、路線バスを利用しないと買い物ができない高齢者もいる中で、路線バスの現状はどうなっているか。また、公共交通空白地について、今後の対策は考えているか。</p> <p>◎全国各地でも様々な取り組みがあるが、本市ができる対策はあるか。          ・市内の移動販売や宅配業者のリストを配布するなどの情報提供はできないか</p> <p>◎来年度に向けて見直し中の「地域福祉計画」に組み入れて取り組めないか          ・高齢者・障害のある人のことを一番分かっている福祉部で現状ニーズ把握をしてもらいたい          ・誰もが必ず車を運転しない年齢になる。買い物弱者対策は一部の人のためではない。市長のリーダーシップで、関係部局が連携しながら具体策をどんどん進めてほしい</p>	<p>◎市から路線バスへの補助金は          H18年度5路線5系統で約2164万円          H22年度8路線9系統で約6950万円          今後、路線バスが廃止され、公共交通空白地帯が生じた場合には新たな施策も考えていく（企画部）</p> <p>◎商工会議所・商店会等を通じて、宅配・移動販売・店舗までの送迎サービスなどの実施状況を調査し、リストの配布事業者の意向を確認した上で対応していく（経済部）</p> <p>◎「介護保険事業計画」や「地域福祉活動計画」等の中で、具体的に何ができるか検討し、地区社会福祉協議会の協力を得ながら現状把握を進めたい（福祉部）</p>
<p><b>★青少年の育成について</b></p> <p>◎青少年に関わるボランティア・指導者の育成をどのように取り組んでいるか</p> <p>◎地域・家庭・学校の連携で青少年の育成に成果が見られる具体例は</p> <p>◎子供たちの側が、もっと地域に貢献できるように、教育活動や部活の時間を活用できないか          ・年に数回（例えば「ゴミゼロ運動の日」や「敬老の日」）でも、子供達が地域の清掃や、高齢者宅の草刈りをする日等にできないか</p>	<p>◎ユースボランティア登録制度で、高校生や大学生が活動している</p> <p>◎第二中学校区住民会議で9年前から路上清掃や有害ビラ撤去等、各地域で様々な活動を展開中（教育部）</p> <p>◎子ども達の地域活動への参加を積極的に進めていきたい。          特定の日には学校をあげて取り組むことは、各学校の実情に応じた配慮が必要と考える（教育長）</p>